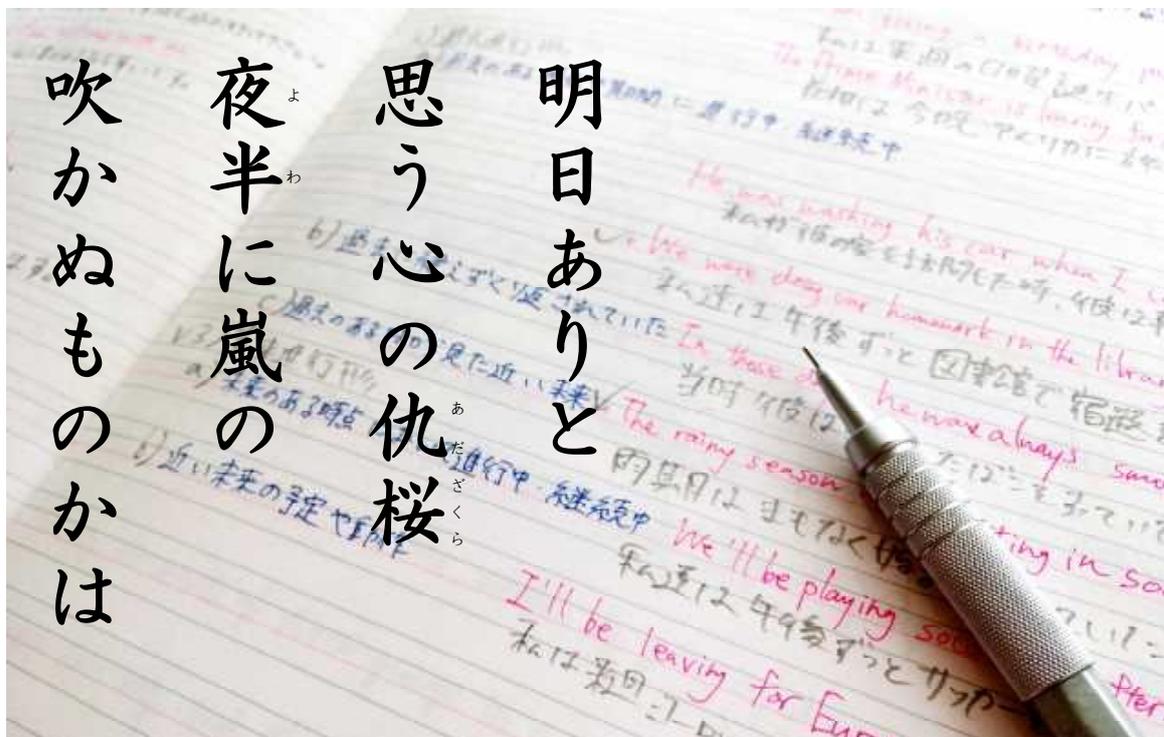


	<h1 style="text-align: center;">進取の気概</h1> <p style="text-align: center;">(校長室だより)</p>	<p style="text-align: center;">有田市立箕島中学校</p> <p style="text-align: center;">自主 友愛 剛健</p>	<p style="text-align: center;">R3・5・18</p> <p style="text-align: center;">No. 9</p>
---	--	--	---



800年以上前に、親鸞しんらんという偉いお坊さんが詠んだ歌です。

親鸞が9歳の時、お坊さんになることを願い出たとき、「今日は夜も遅いので、明日の朝になったら、お坊さんになるための儀式をしてあげましょう」と言われました。その時、「明日まで待てません」と言って、親鸞が詠んだと伝えられています。

「今きれいに咲いている桜の花は明日も咲いているだろうから、今日見なくても大丈夫だと安心していると、もしかすると夜のうちに、強い風が吹いて散ってしまうかもしれない」という意味です。「今やろうと思ったことは、今やらなければいけない。明日でいいやと思っていると、桜の花がはかなく散るように、チャンスを失ってしまいます」という親鸞の決意が聞こえてきそうです。

昨日、一学期中間テストの発表がありました。みなさん、このテスト期間をどのようにして過ごすのでしょうか？まだ時間があるから大丈夫、明日やればいいや、次に頑張ればいいやなどと、やらなければならないことをつつい先延ばしにしていませんか？「何を・いつまでに・どのようにするのか」を計画し、それを確実に実行するという積み重ねが大切です（大人にでも難しいことですが・・・）。テスト勉強に限らず、日々の授業や部活動など、さまざまな中学校生活の中でこの積み重ねを大切にしてください。そうすれば一日一日が、より充実した貴重な時間になっていくはずですよ。